

日本史研究を進展していくためのデータプラットフォーム

山田 太造 東京大学 史料編纂所 t_yamada@hi.u-tokyo.ac.jp

概要

東京大学史料編纂所では、前近代日本史史料に関する調査とそれに基づく史料の複製・デジタル化、日本史研究・編纂、およびそれらの成果公開を行っている。これらの研究活動を支え、かつ日本史に関わるデータを提供し、日本史研究進展をささげていくためのデータプラットフォームを示す。

研究内容

収集：史料編纂所では日本・世界各地に史料調査に出かけ、注目すべき史料について複製を作成してきた。130年以上より影写・謄写・模写という技術を用い、写真技術やデジタル画像技術を駆使することで膨大な日本史史料コレクションを築き上げてきた。
編纂：史料を研究素材として翻刻・再編成等を行う。事件が起きた時間の流れに沿って関連史料を集める編年史料、史料群の構成と内容を精密に復元する編纂史料とに分けて編纂を行っている。
成果公開：蒐集・整理・研究した史料を広く一般の利用に供するために史料集の出版を1901（明治34年）から続けて、年間十数冊を刊行し、総点数は1100冊以上に及ぶ。
また史料収集・編纂・出版の成果を、SHIPS DB (Database in Shiryohensan-jo Historical Information Processing System) より公開している。URL: www.wap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/

収集・調査

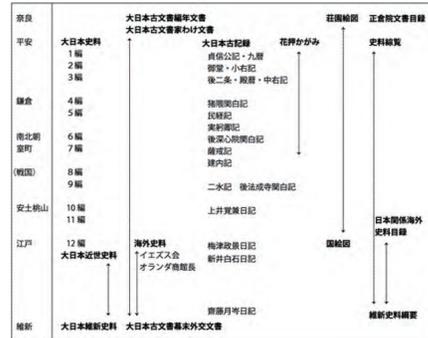
メタデータ
•series: 島津家文書
•file: 歴代亀鑑
•item: 源頼朝下文
•ID: T18-1-1-1
•日付: 元暦二年六月十五日
•差出: 源頼朝
•宛所: 伊勢国波出御厨
•体裁: 縦紙, 頁数: 1通, 重量: 30.5×48.2cm, 紙数: 1紙
画像
•スペック: JPEG, 9184×7239,
•画像管理ID: BD1000-009900-00000003.jpg
•URL: https://clioimg.hi.u-tokyo.ac.jp/viewer/image/idata/T18/1/1/00000003.jpg

•史料メタデータ作成
•複製作成・撮影
•史料編纂所以外にある史料が対象
•1885年より本格化, 約130年間
当初:
•影写本(敷き写し), 謄写本(見取り写し), 模写など
•並行してガラス乾板による撮影
マイクロフィルム: 1950年より開始, 1970年ごろから本格化
デジタル撮影: 2010年頃から

編纂

編纂：史料を研究素材として
翻刻・再編成

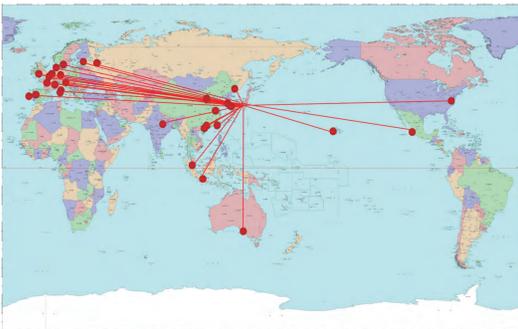
2つの編纂
•編年史料：事件が起きた時間の流れに沿って関連史料を集めたもの。『大日本史料』、『大日本古文書』（編年文書）など
•編纂史料：史料群の構成と内容を精密に復元。『大日本古文書』（家わけ文書）、『大日本古記録』など



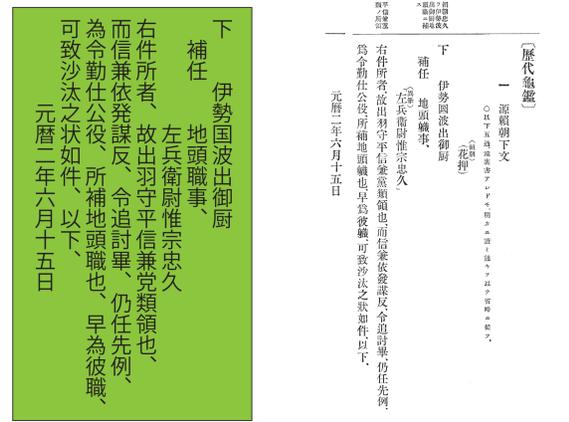
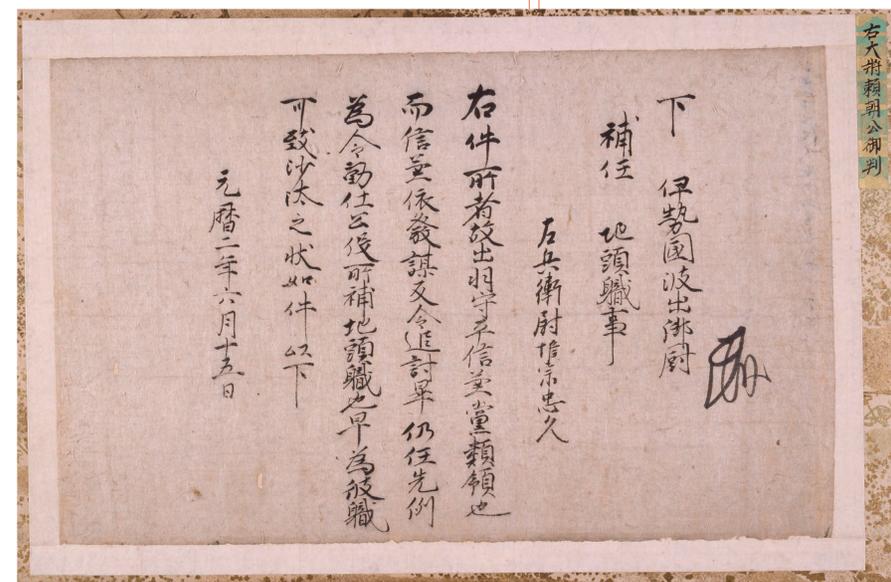
史料探訪：史料の調査及び収集

•発足当時より史料編纂所教職員自ら調査してきた。
•2009年より共同利用・共同研究拠点「日本史史料の研究資源化に関する研究拠点」の認定を受け活動開始。史料編纂所外の研究者とともに史料探訪できる環境を整え、実施している。
•外部資金による史料探訪。

調査対象



科学研究費補助金基盤研究S「マルチアーカイバル的手法による在外日本関係史料の調査と研究資源化の研究」
(研究代表者：保谷徹, 2014-2018)



『島津家文書 源頼朝下文』翻刻『大日本古文書』での版面

画像点数：18,237,091

5,409,937 レコード

(所蔵：8,688,704, 所外：9,548,387)

681,059,766 文字

2018年1月時点

2017年12月時点

史料画像のデジタル化

所蔵史料
•原本、写本(影写本, 謄写本), 史料編纂所出版物
•期間: 2000年~2008年
•点数: 約7,200点
•手順: マイクロフィルムで撮影->スキャニング->画像ファイル作成
•画像のスペック: TIFF (monochrome, 2値化), 400 PPI
2008年以降
•デジタルカメラでの撮影
•画像のスペック: JPEG, カラー
•実はRAWがある。これを保存。
•サイズ: 約6,650×4,700 (約31.3 MP)
•解像度: 400 PPI

マイクロフィルム等のスキャニング

•対象: 史料編纂所で収集した史料, 国内所在の史料, 他機関所蔵史料
•マイクロフィルム: 約12,000リール
•シートフィルム: 8,066タイトル
•8年間かかった(2008年から2015年まで)

海外史料

•1930年頃から収集開始。
•デジタル化は2014年度より本格的に開始

データベース構築と Web 公開

1984年よりデータベース構築開始。

1997年より Web 公開。

データベース数: 30

種類: 目録, テキスト, 人物, 空間, 文字, ...

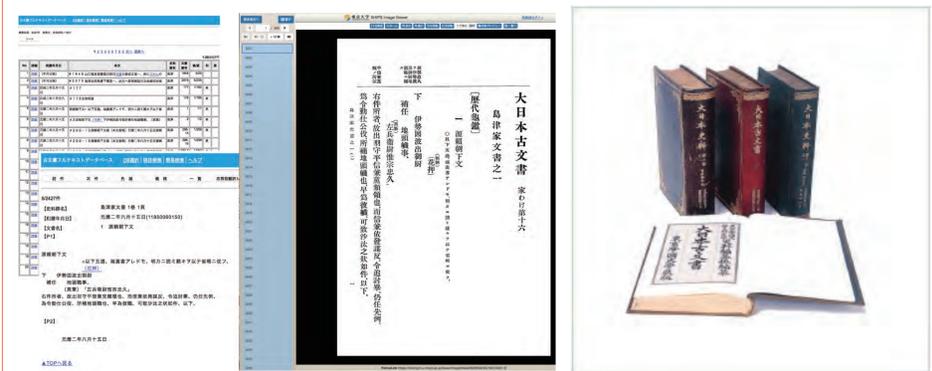
アクセス数 (月平均):

•データベース: 約30万件

•画像: 約70万件

•テキスト構造: 独自構造。一部デファクトスタンダードである TEI(Text Encoding Initiative) ガイドラインに従っている。

•画像配信: 国際規格になりつつある IIIF Image API, IIIF Presentation API を利用



DB検索サービス: SHIPS DB例: 古文書フルテキスト



明治34年(1901年)刊行の『大日本史料』(第六編・第十二編), 『大日本古文書』(編年文書)

所蔵史料 平成28年3月31日現在

•日本史史料: 200,355点, 国宝1点, 重要文化財17点を含む
•史料編纂所作成史料: 117,875冊
写本: 影写本, 謄写本
写真
拓本
•フィルム類: 66,990点
マイクロフィルム, シートフィルム, ガラス乾板



特別収蔵庫

貴重書
国宝: 1点
•島津家文書 (848巻, 752帖, 2689冊, 4908通, 160巻, 207枚, 2幅, 附文書箱32合)
平安時代より江戸時代に至る薩摩藩島津家重代相伝の文書群。原本。
重要文化財: 17点
•台記(1巻)
平安時代後期の公家藤原頼長(1120~56)の日記。古写本
•愚昧記(8巻)
平安~鎌倉時代の公家三条実房(1147~1225)の日記。自筆本と古写本。
中院一品記(13巻, 附目録4通)
南北朝期の公家中院通冬(1315~1363)の日記。自筆本と古写本。
•明国節付(1幅)
明の神宗の萬曆23年(文祿4年)2月, 神宗が前田玄以に都督管領の官職を授けた際の辭令書。

今後の予定

日本史学を進展していくためのサービスを充実していく

- オープンアクセス/オープンデータ
- 基盤データの整備
目録/空間/地名/時間/テキスト/画像/人名
- 基盤データへのアクセシビリティの確保